



現在の風景



がりゅうざん
臥龍山北側斜面を東方向に撮影した写真
(昭和24年4月) (川島由造さん提供)

臥龍山北側斜面を県道の福祉会館入口付近から撮った写真です。当時は道路も未舗装で道の北側には桑の木も見えるのどかな風景でした。

徒然歳時記

れんげ



唱歌『春の小川』にも歌われるれんげは日本の春における親しみやすい花のひとつであるといえます。

れんげの名前の由来はその花びらが蓮の花に似ているところからきています。一般的にはれんげまたはれんげ草といわれていますが、標準和名は「紫雲英(ゲンゲ)」といいます。これは一面に咲いた花が紫色の雲がたなびくように見えるところにちなんでいます。

昔かられんげは水田の緑肥や牛の飼料として盛んに栽培されていましたが、近年、化学肥料や耕運機の普及により日本の水田から減少してきています。また、れんげは、緑肥のほかに養蜂の蜜を採るために栽培されているところもあります。

江戸時代に滝野瓢水という人が詠んだ俳句に「手に取るなやはり野に置け 蓮華草」という句があります。この俳句は「蓮華の花は野に咲いているからこそ美しいのであって、自分のものにしてしまえばその美しさは失われてしまう」という意味です。

気候もだんだんと暖くなり、散歩にも出やすい時期になってきました。散歩の途中ふと足を止めて道端に咲くれんげをながめながら一休みするのもいいかもしれません。

編 街角で真新しい制服を着た中学生や真新しいランドセルを背負った小学生を見ると新年度の始まりを感じます。きっと期待と不安のなか通学していることでしょう。自分も始めて入庁した時のことを思い出しました。これからもフレッシュな気持ちで、初心を忘れずに頑張っていきたいです。(1)

わがやのアイドル



大串 芽依ちゃん
(2歳2か月)
さくくん
(10か月)

おしゃべりが上手になってきた芽依。歩く歩数が増えてきた朔。

これからの成長が楽しみな姉弟です。



鈴木 泰智くん
(4歳3か月)
智也くん
(3歳)

甘えん坊の長男と、恥ずかしがり屋の次男。とっても可愛いふ

たりの王子が仲良く、たくましく育ってくれたらと願っています。

■秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。
☎・📠 役場秘書広報課☎(295)2112内線332

広報もろやま 4月20日号 No.824 〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地
■発行 毛呂山町 ■1部当り 46.4円 TEL 049(295)2112 Fax 049(295)0771
■編集 秘書広報課広報広聴係 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp>

人口 37,015人(-58人)
【男 18,473人(-23人) 女 18,542人(-35人)】
世帯 14,905戸(+1戸)
※平成21年4月1日現在(カッコ)内は前月比

口広報もろやまは、役場ホール、両公民館、図書館、保健センター、教育センター、総合公園体育館、歴史民俗資料館、福祉会館に置いてあります。